

教科	商業		科目	ソフトウェア活用		
単位数	4単位	開講年次	3	使用教材	全商情報処理検定模擬問題集ビジネス情報2級	
分類・帯	情報・ビジネス系列・Q1 Q2					
科目説明	企業の経営活動を情報という観点から学習します。経営分析能力や情報処理能力の育成を目指す科目です。アプリケーションソフト(市販ソフトウェア)を企業等社会的組織内で使いこなしていく能力を育てるために、エクセルを学習していきます。					
選択生徒像	エクセルの応用的な学習をしたいという希望を持っている生徒。 強く資格取得を希望している生徒。					
選択条件	※2年次に「情報処理」を履修していること。					
備考	検定受験料1,500円が必要です。検定試験日は休日です。 希望者はビジネス文書実務検定を受験することができます。					
目標	ビジネスに関する情報を適切に管理し、分析し、活用する知識と技術を習得させ、コンピュータを活用することの重要性について理解させるとともに、業務を積極的に合理化、自動化する能力と態度を育てる。					
評価方法	知識・技能:思考・判断・表現:主体的に学習に取り組む態度=4:3:3 小テスト 実習成果物 定期考査課 授業態度および取り組み状況 課題提出状況 出席状況					
学期	月	単元	指導内容			
前 期	4	1ビジネスと情報化の推進 表計算ソフトウェアの活用 ビジネス情報の分析と活用	ビジネスと情報の関係、企業におけるコンピュータ設備の構成など情報をビジネスに活用する能力について理解します。 グループ別の集計など、表計算ソフトウェアを利用したデータの分析技法を身に付けます。 表計算ソフトウェアを利用して企業の収益性や安全性など財務情報の分析や分析結果の活用方法を理解し、会計活用能力を身に付けます。			
	5	2表計算ソフトウェアの活用	表計算ソフトウェアの応用的な操作技術としてマクロに関する操作技術や処理手順を理解します。			
	6	3データベースソフトウェアの活用	スポーツクラブの会員台帳を題材として、データのインポート、リレーションシップなどデータベースの作成技術とデータの抽出やレポートの作成などデータベースの活用に関する操作技術を身に付けます。			
		前期中間考査				
	7	5ビジネス情報システム開発の基礎	販売情報システムを題材に、システム開発の一連の作業工程に関する基本的な知識を理解します。			
	9	5ビジネス情報システム開発の基礎	販売情報システムを題材に、システム開発の一連の作業工程に関する基本的な知識を理解します。データベースソフトウェアを利用したシステム開発の方法を実習を通して身に付けます。			
	前期期末考査					
後 期	10	5ビジネス情報システム開発の基礎	データベースソフトウェアを利用したシステム開発の最終段階である各種テストの知識を理解し、問題解決の能力を実習を通して身に付けます。			
	11	6情報処理機器の導入と管理	情報通信ネットワークを構成する各種の機器やTCP/IPなど効率的な利用法に関する知識を理解します。			
		後期中間考査				
	12	6情報処理機器の導入と管理	アクセス権の設定などクライアントサーバシステムを構築する方法や管理方法に関する基本的な知識を実習を通して理解します。			
	1	6情報処理機器の導入と管理	データのバックアップや復旧などデータ保護やネットワークの安全性を維持するセキュリティ管理の方法を実習を通して理解します。			
	2	まとめ		実習による作品製作をする。		
	3					